

災害医療センター

■ スタッフ

センター長 金子 唯

■ センターの特色

本邦は世界でも稀な災害大国であり、この数年を振り返るだけでも地震、豪雨、台風など毎年のように何らかの災害が発生している。一方で医療従事者への災害医療の普及も十分ではない。上記を踏まえて当センターでは、三重大学医学部附属病院を中心として三重県内に災害医療の概念・教育の普及を行っていくことを目標としている。

災害発生時に専門家として活動できる人材を育成するとともに、医療機関・消防・救急・自治体などの各レベルでの災害対策について研究や教育を行い、卒前卒後災害医学教育・災害医療支援体制構築・医療従事者災害医療活動調整などを実施している。

国内各地で発生した災害に対して災害医療支援活動を展開している。

■ 活動実績

災害医療の概念・教育は院内・院外を問わず必要とされるものであり、これら両方に対して活動を行っている。ただし2021年度より、新設された災害対策推進・教育センターと共同で活動にあたっている。

1. 三重大学医学部附属病院での活動

- 防災会議参加
- 防災対策推進会議参加
- 防災WG参加
- 災害時・院外医療支援部会参加
- 多数傷病者受入れ訓練企画
- 災害医療リンクナース教育
- 各種災害医療セミナーの開催

2. 院外での活動

- 日本DMAT 隊員養成研修参加
- 日本DMAT 隊員技能維持訓練参加
- 日本DMAT 中部・北陸地区ブロック訓練参加
- 内閣府広域搬送訓練参加
- 三重県DMAT 活動訓練参加

■ 今後の展望

三重大学医学部附属病院を中心として三重県内に災害医療の概念・教育の普及を行っていく。

災害拠点病院である三重大学医学部附属病院の災害医療体制を充実・強化する事業に協力していく。

公的機関との連携を密にして、災害時の保健医療体制構築を通じ、三重県の防災減災体制を支援します。